

能代河川国道事務所ニュース



発行者：国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
 〒016-0121 能代市臈淵字一本柳97-1
 TEL：0185-70-1001(代)
 FAX：0185-70-1141
 E-mail：thr-noshiro01@mlit.go.jp
 HP：http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/

【支所・出張所】森吉山ダム／ニツ井(河)／鷹巣(河)／大館国道／能代国道維持

★定期的に事務所管内のニュースをお伝えします。



だいかくの

大覚野峠防災起工式

12月15日(日)、仙北市西木町の多世代交流施設「山鳩館」において、「一般国道105号大覚野峠防災」の起工式を開催いたしました。

「大覚野峠防災」は、仙北市西木町上桧木内～北秋田市阿仁比立内における延長5.7kmのバイパス事業で、災害に強いネットワークの確保等を目的として整備するものです。式典では、県選出国會議員を含め約120名が参加され、工事の安全と早期完成を祈念いたしました。

今後、早期の完成を目指し、事業を推進して参ります。

[詳細はこちら](#)



▲式典会場の様子



▲鍬入れ

冬季雪害対応訓練

11月28日(木)、本格的な降雪期を前に、記録的な大雪、スタック発生、それに伴う事故・渋滞、交通規制と解除までの事象や被災者の避難を想定し、道の駅での避難所開設等を含めた「冬季雪害対応訓練」を実施しました。

今回の訓練は、北秋田警察署・北秋田市消防本部・北秋田市・道の駅「たかのす」・能代河川国道事務所の5機関合同の訓練で、平成26年に初めて実施してから6回目の実施となります。

当日はスタック車を想定した牽引訓練、除雪訓練、救助救援活動訓練・避難所開設訓練などを実施し、記録的雪害を想定した対応手順などを確認しました。



▲牽引訓練



▲救助救援活動訓練

第18回のしろ市民まちづくりフォーラム開催

のしろ市民まちづくりフォーラムは今年度で18回を迎え、能代市旧料亭金勇 大広間にて一般聴講及びWEBを活用した配信での開催となりました。

今回は「風景街道による持続的な地域づくり」をテーマに各講師よりそれぞれの活動を通じた地域づくり事例を紹介いただきました。

基調講演では第一部 愛媛大学 社会共創学部 教授 羽鳥 剛史氏より「道と文化の継承：我々は後世に何を遺せるのか?」、第二部 一般社団法人 北海道開発技術センター理事 原 文宏氏より「ヒストリック・バイウェイの活かし方ー米国や北海道の事例からー」と題し、それぞれご紹介頂きました。

フロアディスカッションでは基調講演を頂いた講師2人の他に、前回講演頂いた愛知県田原市 都市建設部 建設調整監の志賀 勝宏氏にもオンラインで参加いただき、歴史や文化の継承を進めるために、それぞれの地域でどのように取り組んでいるかなどの情報提供や、風景街道を通じた広域交流についてのそれぞれの考えなど、講師の方々から多様なお話をいただき、参加者全員で今後の風景街道について考えることが出来ました。

本フォーラムでは、会場聴講者65名、WEB聴講者37名の計102名に参加頂き、大変有意義なフォーラムとなりました。



▲会場状況 能代市旧料亭「金勇」



▲羽鳥教授 講話



▲原理事 講話



▲ディスカッションの様子

第25回のしろまち灯り

能代市内を通る県道205号沿いの畠町通りをメインに、「のしろまち灯り」が今年も開催されました。能代河川国道事務所ものしろ白神ネットワークの一員として、本イベントへの協力を行っております。

当事務所は会場から離れた場所にあります。能代市の玄関口に位置づけられるため、当イベントの広報活動の一環とし、イベント当日の12月14日に事務所内外にて灯りの展示を行いました。



▲能代河川国道事務所での灯り展示

油流出事故にご注意 ⚠

寒い季節は油類の取り扱い機会が多くなり、河川や水路に流出する事故が増える傾向にあります。原因の第一位は**一般家庭からの暖房用灯油**です。

給油時は、その場を離れない！
目を離さない！

《 編集後記 》

本格的に寒さが厳しい時期となってきました。冷え込みや寒暖差で体調も崩しやすい時期ですので、体を温める事を意識し、心身共に健やかな状態で新年を迎えましょう。良いお年を！

【第1027号 編集担当 河川管理課】

